



令和4年度 ISIT市民講演会

テーマ 「脱炭素社会の実現に向けて」

福岡市では、「2040年度温室効果ガス排出量 実質ゼロ」の実現に向けて取組みを進めています。本講演会では、再生可能エネルギーとして注目される風力発電の最新状況や身近な省エネ等による脱炭素について九州大学の専門家等が分かりやすく講演します。

- 日時 2023年3月7日（火）14：00～16：00（受付開始13：30）
- 会場 福岡SRPセンタービル2F視聴覚研修室（福岡市早良区百道浜2-1-22）
※オンライン参加もできます
- 参加費 無料 ※オンライン参加の通信費は自己負担
- 定員 会場 50人 オンライン 200名（先着順）
- 申込期限 2023年3月2日（木）
- 申込方法 参加希望の方は、下記：受付URLまたは二次元コードより
申込できます。
受付ホームページ <https://www.isit.or.jp/news/isit-gi/>
右記二次元コードから

※オンライン参加の方へは前日までに参加URLをお送りします。



【 プログラム 】

- 14:00 開会挨拶
- 14:05～14:45 講演1
「分散型エネルギー社会の展望と風力エネルギー利用による地域活性」
九州大学 名誉教授、九州大学洋上風力研究教育センターアドバイザー
株式会社リアムウィンド 代表取締役 大屋 裕二 氏
- 14:45～14:55 休憩
- 14:55～15:35 講演2
「脱炭素社会の実現に向けた都市・建築の取組み」
九州大学大学院人間環境学研究院、教授 尾崎 明仁 氏
- 15:35～16:00 質疑応答 / ISITの技術相談の紹介

<お問い合わせ先> 公益財団法人九州先端科学技術研究所 総務部
TEL 092-852-3460 FAX 092-852-3455 E-mail kouen@isit.or.jp

主催 公益財団法人九州先端科学技術研究所(ISIT) 後援 福岡市 福岡市教育委員会

講演 1

分散型エネルギー社会の展望と風力エネルギー利用による地域活性

世界は再生可能エネルギー利用の大きな潮流にある。特に風力エネルギーは太陽光と並んで将来の基幹産業となるべく大きな期待が寄せられている。日本、全世界で再エネの普及が進む中、エネルギーの供給、需要の形態が大きく変わろうとしている。それは大発電所からの一方向の流れではなく、各事業所、各家庭が発電所を持ち、互いのネットワークでエネルギーを融通し合うという超分散型エネルギー社会です。今後、風力エネルギー利用を中心としてどのようなエネルギー社会へ変化していくかを一緒に考えて行きたいと思えます。

講師プロフィール

1981年九州大学大学院工学研究科応用力学専攻博士後期課程単位修得中退。同大助手、助教授を経て、1997年同大学応用力学研究所教授、2012-2016年同所長、2017年定年退任。

風工学、風力エネルギーの研究に従事。

日本流体力学学会、日本風工学会、日本風力エネルギー学会などの会員。博士（工学）



大屋 裕二 氏

九州大学名誉教授、株式会社リアムウィンド 代表取締役
九州大学洋上風力研究教育センターアドバイザー

講演 2

脱炭素社会の実現に向けた都市・建築の取組み

温暖化対策として、日本は2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにする「2050年カーボンニュートラル」を宣言（2020年10月）し、脱炭素社会を目指して様々なアプローチを急加速しています。生活に係る建築由来の二酸化炭素排出量は全体の約33%にもなることから、都市・建築には高いCO₂削減目標が課せられています。本講演では、スマートシティやゼロ・エネルギー建築など、グリーン社会の実現に向けた都市・建築の最新動向について紹介します。

講師プロフィール



尾崎 明仁 氏

九州大学大学院人間環境学研究院 都市・建築学部門 教授

1990年 九州大学大学院総合理工学研究科熱エネルギーシステム工学専攻博士後期課程修了

1990年～1996年 福岡大学助手（工学部）

1996年～1997年 福岡大学講師（工学部）

1998年～2001年 カナダ天然資源省招聘研究員

2001年～2006年 北九州市立大学助教授（国際環境工学部）

2006年～2014年 京都府立大学教授（人間環境学部）

2014年～現在 九州大学教授（大学院人間環境学研究院）

【アクセス】

福岡SRPセンタービル 2階 視聴覚研修室

（福岡市早良区百道浜2丁目1-22）

【最寄バス停：

医師会館・ソフトリサーチパーク前】

※近隣にコインパーキングあり（ご本人負担）

